

事務事業評価表

1. 基本事項

作成日 令和05年06月23日(金)

事務事業		渋沢栄一地域活性化事業		担当課	渋沢栄一政策推進課	担当係	渋沢栄一政策推進係	管理番号	14121
総合計画	大項目	2	次代を担う人と文化を育むまち		事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務			
	中項目	2	誰もが生きがいをもち学ぶことのできるまちづくり		根拠法令 個別計画等	「渋沢栄一翁と論語の里」整備活用計画			
	小項目	4	渋沢栄一の顕彰と精神の継承						
	主要プロジェクト	1	渋沢栄一を核としたひとづくりプロジェクト						
事業概要		渋沢栄一を活用した地域の活性化に関する事業。新一万円札の発行を見据え、渋沢栄一の残した功績やその理念を全国に発信するとともに生誕地である本市の認知度を向上させる。							
目的 ※何のために		深谷市を全国へ広く情報発信し、市民のシビックプライドを醸成して地域の活性化を図るため。							
対象 ※誰・何を対象に		全国から深谷市を訪れるかたを対象とする。							
手段 ※どのように		ロゴマーク・肖像写真の適切な管理や、新一万円札の発行を見据えての各種プロモーション活動などを行う。							
成果 ※何を求めるか		プロモーション活動の実施により深谷市を訪れる人数を増加させ、まちなかへの回遊を促し、地域の活性化につなげて、渋沢栄一と深谷市の認知度を向上させる。							
執行体制		<input checked="" type="checkbox"/> 職員 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 市民ボランティア <input type="checkbox"/> NPO等 <input type="checkbox"/> その他()							
事務事業を構成する 予算事業		区分	款	項	目	細事業名		前年度決算額(円)	
本事業の 主な業務		・ 渋沢栄一を核とした地域活性化				・			
		・ 渋沢栄一関連施設間の回遊策の研究・実施				・			
		・ 大河ドラマに関する連絡調整				・			
		・				・			
		・				・			
		・				・			

2. 事業費(投入コスト)

単位: 円

区分		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	
年度別計画								
事業費	予算（現額）	0	0	0	0			
	決算額	0	0	0	0			
	財源内訳	国支出金	0	0	0	0		
		県支出金	0	0	0	0		
		地方債	0	0	0	0		
		他特定財源	0	0	0	0		
		一般財源	0	0	0	0		
人件費	従事職員数（人）	1. 70	2. 10	2. 20	2. 20			
	人件費相当試算※	13, 195, 256	16, 526, 070	18, 032, 051	18, 032, 051			
総事業費試算		13, 195, 256	16, 526, 070	18, 032, 051	18, 032, 051			

※ 人件費相当額試算は、従事職員数に平均人件費を用いて試算したものです。

3. 評価指標

区分	指標名		目標値	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
			実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
	実績値の算出式									
活動指標 1	渋沢栄一翁関連イベント実施回数	目標値	回	12.00	12.00	12.00	12.00	12.00	12.00	
		実績値		35.00						
	目標値の算定根拠/実績値の出所			1ヶ月に1回の開催を目標とする。 / 開催回数						
	実績値の算出式									
活動指標 2	渋沢栄一関連施設の回遊イベント実施件数	目標値	件	4.00	4.00	4.00	4.00	4.00	4.00	
		実績値		1.00						
	目標値の算定根拠/実績値の出所			四半期に1件を目標とする。 / イベント実施件数						
	実績値の算出式									
成果指標 1	ロゴマーク・肖像写真の使用件数	目標値	件	480.00	480.00	480.00	480.00	480.00	480.00	
		実績値		139.00						
	目標値の算定根拠/実績値の出所			1ヶ月に40件を目標とする。 / 年間使用件数						
	実績値の算出式									
成果指標 2	ロゴマーク・肖像写真商品化金額	目標値	百万円	720.00	720.00	720.00	720.00	720.00	720.00	
		実績値		805.69						
	目標値の算定根拠/実績値の出所			件数の半数を商品とし、平均300万円を目標とする。 / 売上額及び制作費用						
	実績値の算出式									
成果指標 3	渋沢栄一記念館及び中の家の来場者数	目標値	千人	120.00	120.00	120.00	120.00	120.00	120.00	
		実績値		134.00						
	目標値の算定根拠/実績値の出所			1ヶ月に1万人を目標とする。 / 記念館と中の家の年間来場者数						
	実績値の算出式									
		目標値								
		実績値								
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
	実績値の算出式									

4. 観点別評価

観点別評価は、指標達成の有無の他、その達成率も勘案して総合的に評価します。
目標値の設定がないものについても、進捗状況等を踏まえA～Cの三段階にて評価します。
事業達成度評価は、意図した活動により事業目的に合う成果がでているかを評価します。
(評価基準) (A:達成している B:おおむね達成している C:達成していない)

(1) 事業達成度評価

区分	評価の観点	評価	評価理由・指標数値の推移
活動	・活動実績は、見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか。	B	駅からハイキングの実施による施設回遊イベントや、深谷テラスパークでのイベントでPRを実施するなどして、活動指標の目標を概ね達成したことから、Bとする。
成果	・意図した成果が上がっているか。 ・指標未達成の場合は、その原因を分析できているか。	B	ロゴマーク・肖像写真の使用件数については目標値を下回っているが、商品化の金額や施設の来場者数は目標値を上回っているため、Bとする。
			評価者 洪沢栄一政策推進係長 高田 弘徳

(2) 事業効率性評価

事業効率性評価は、執行体制や手段など効率的に事務事業を執行しているかを評価します。
(評価基準) (A:効率的である B:高める余地あり C:効率的でない)

区分	評価の観点	評価	評価理由
効率性	・ICTの活用や業務改善が充分か。 ※検証必須 ・コスト面など効率的に執行できているか。 ・民間委託や他事業との統合・連携が可能か。	A	ロゴマーク・肖像写真の使用について、オンライン申請の仕組みを構築し業務を効率化することができた。また、イベントについて様々な団体等との協力により効率的に事業を実施することができたため、Aとする。
			評価者 洪沢栄一政策推進係長 高田 弘徳

5. 前年度改善改革プラン達成状況

令和3年度の評価を受けて 設定した改善・改革案	一部保管している施設のセットの活用方法の検討。ロゴマーク・肖像写真の使用について、オンライン申請の仕組みを構築するなどして業務の効率化を目指す。花園IC拠点と論語の里、深谷駅を結ぶ回遊策を検討・実施する。また、既存移動手段との連携を検討する。
達成状況及び その効果	大河ドラマ館のセットについては旧渋沢邸「中の家」の改修工事に合わせて活用を図っていくこととした。回遊策については駅からハイキングを実施したほか、深谷テラスパークでのイベントにおいてPRを行うことで論語の里をはじめとした渋沢栄一関連施設を紹介し、回遊を促した。また、ロゴマーク・肖像写真のオンライン申請の構築についても実施することができた。

6. 所属長評価（今後の方向性）

事務事業	渋沢栄一地域活性化事業	担当課	渋沢栄一政策推進課	担当係	渋沢栄一政策推進係	管理番号	14121
<div><div><div><input type="checkbox"/> ①拡充, 重点化(コスト投入)</div><div><input checked="" type="checkbox"/> ②現状のまま継続</div><div><input type="checkbox"/> ③見直して継続</div><div><input type="checkbox"/> ④目的達成による終了</div><div><input type="checkbox"/> ⑤廃止を検討</div></div><div><div><input type="checkbox"/> 委託化等の検討</div><div><input type="checkbox"/> 成果向上のための改善</div><div><input type="checkbox"/> 効率化のための改善</div><div><input type="checkbox"/> 事業規模の縮小</div><div><input type="checkbox"/> 他の事務事業と統合</div></div></div>		評価の内容説明					
上記を実施するための具体的な取組内容は？		令和6年度上半期の新一万円札発行を見据えた発行記念イベントの実施により、市民の機運を醸成するとともに、深谷市を訪れる人数を増加させて地域の活性化につなげる。ロゴマーク・肖像写真の使用申請についても引き続き適切な事務手続きを行う。回遊策については、他の施策も踏まえながら効率的に取り組む。					
		評価者	渋沢栄一政策推進課長 塚越 稔				

7. 改善改革プラン・今後の課題

令和5年度に実施する 改善・改革案 (事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善)	新一万円札発行を見据えての冠事業の実施など、全庁的に実施する。あわせて深谷商工会議所やふかや市商工会、深谷市観光協会などに対しても新一万円札発行の機運を高めるよう協力を促していく。
令和6年度以降に取り組む 改善・改革案・今後の課題 (事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善)	新一万円札発行日に合わせたイベントを実施する。また、新一万円札の発行後も一定の期間は冠事業を実施する。その他、新一万円札の発行を起点とした各種取り組みを実施する。

8. 評価指標グラフ

